

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

## 図書館だより

No. 33  
2019.Oct.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品 『禍面』 長友 奈津子 (2019年 専攻科造形専攻修了)

女性特有の複雑な感情「機微」をテーマにそれを動物的形相に置き換え、その本性を覆い隠すというイラストレーション作品。デジタルでの繊細な描線には動物的形相と本性を覆い隠す「仮面」のレイヤー構造がシルクスクリーンによって物理的に表現されることで、情念と向き合う「負の感情」が美の表層となり描き出された。

## Contents

- ① 先生おすすめの一冊
- ② ビブリオバトルを開催しました
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ 網中いづる「Lively」

# 先生おすすめの一冊



美術科

永井 学 先生

## 『日本の曖昧力～融合する文化が世界を動かす』

呉 善花 著 361.5/011

## 『日本人と日本文化』

司馬 遼太郎、ドナルド・キーン 著 210.04/Sh15

私は絵仕事で日本画を描いています。大学に進学し日本画分野を専攻した時からかれこれ30年余り日本画を描いてきましたが、自分の絵仕事の日々は「日本画とは何か」「自分にとっての日本画とは」ということについて自問し続けてきた日々であったように思います。長年にわたり絵仕事を続ける上では、自分が何を美しいと感じ考えているのかという、表現の源と言うべき「自分にとっての美」について、多少なりとも意識し考えざるをえませんでした。と同時に、自分の内なる美を紡ぎ出そうとすればするほど、若かりし頃はほとんど意識してこなかった「日本人としての普遍的な美意識」について関心をもち考えを巡らすようにもなりました。

紹介する2冊の本は「日本文化」についての内容の本ですが、比較的短時間で読み終わることができる、いわゆる“読み易い本”です。この2冊の本ともに日本特有の文化や美意識について語られており、急速にグローバル化と情報（IT・AI）化が進む現代社会の中で、改めて自分の立ち位置を客観的に確認し、自身の在り方について考えるきっかけとすることができました。

（ながい まなぶ／日本画）



音楽科

喜多 宏丞 先生

## 『アフリカ音楽の正体』

塚田 健一 著 762.4/Ts52

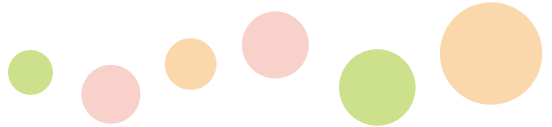
「アフリカ音楽」と言われて、即座に「我々に馴染みのある音楽だ！」と思える人は少ないかもしれない。しかし、ポップス、ロック、ジャズなど、日常的に耳にしているあらゆる音楽の響きやリズムの源流が、アフリカにある。

世界中にある伝統的な音楽は、実は大半が単旋律。その中であって、アフリカの音楽には古くから「ハモる」という概念があり、西ヨーロッパ発祥のクラシック音楽と並んで「2大・ハモりの文化」を形成してきた。また、アフリカ独特の多層的なリズムが生み出す「拍とずれたノリ」の感性こそが、幾多のポピュラー音楽を支える「弾むようなリズム感」の原型である。

そんな、実は身近なアフリカ音楽を、歴史的・文化的観点に加えて、理論面では時にクラシック音楽の考え方も引き合いに出しながら、最新の研究成果とともに紐解いてゆく。この本付属のフィールド録音集がインターネットで公開されているので、試聴してみて面白いと感じたなら、是非深く読み込んでみてほしい一冊である。

（きた こうすけ／ピアノ）





国際総合学科

宮野 幸岳 先生

## 『谷崎潤一郎集 (一)(二)』

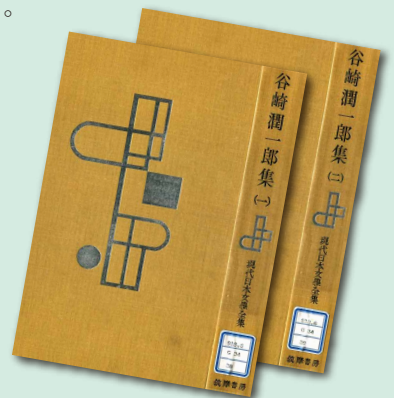
谷崎 潤一郎 著 918.6/G34

衝撃的な絵画を見たり、生毛を撫で上げるような音色に包まれたり、或いは、風に漂う思い出の香りを追いかけたり、恋人が作ってくれたパスタに舌鼓を打ったり、冬場の鉄棒から伝わる冷たさを感じたり。人は「五感」を使って身の回りの様々なことを感じとります。ただ、こうした「五感」とは別次元の感覚で、谷崎の描く物語は読み手の「感情」を直接揺さぶってきます。

湿度の漂うコケットな情景、妖艶なエロチシズム、フェティッシュな快樂など、谷崎の文体描写を形容する言葉は際どいものしか思いつきません。ただ、それらが美しい筆致で描かれているからか、人間の欲にまみれた性的描写ですら甘美な香気を漂わせるのだから不思議です(まあ、美しい文章で性的快樂が巧みに「隠されている」ぶん、より淫靡なのかもしれません)。

おそらく、学生の皆さんも谷崎潤一郎という作家の名前はどこかで見かけたことがあると思います。古い文体のものも混じっているので最初は読みづらいかもしれません。でも、ちょっとだけ頑張って読み続ければすぐに慣れます(むしろ、すぐに谷崎の世界観に引き込まれるので「頑張る」必要もないぐらいです)。それよりも、癖の強い描写が多いため、好き嫌いが明確に分かれる作家かもしれません。

人間の性や癖というものは、表層的な人間関係のなかではなかなか見かけることはありません。秋の夜長に文集を紐解き、人間の裏側に潜んだ密かな性情にそっと触れてみてください。良きにつけ悪きにつけ、きっと何かのインスピレーションを起こしてくれるはずです。  
(みやの ゆきたけ/観光学)



情報コミュニケーション学科

狩谷 新 先生

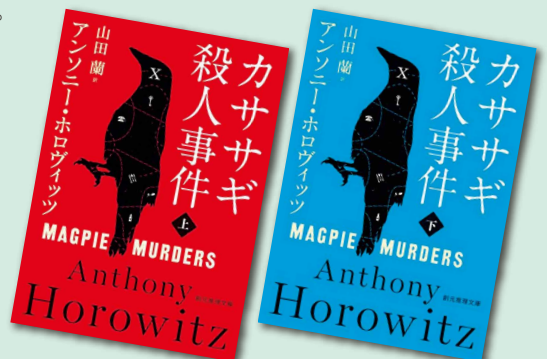
## 『カササギ殺人事件 (上・下)』

アンソニー・ホロヴィッツ 著 933.7/H89/1,2

久しぶりに人に勧めたくなる推理小説に出会いました。作者のホロヴィッツについては、イアン・フレミングの没後、公式に続編の執筆を認められた作家だということを知っていましたが、作品に触れるのは初めてでした。週刊文春の書評を読んで、手に取って見たのですが、見事な作品でした。

カササギというのは、佐賀平野や北海道、本州でも見ることのできる体長45センチほどと鳴きます。中国には、七夕の夜にカササギたちが天の川の上に翼を広げて、牽牛に会いに行く織姫を渡す橋になったという伝説も残っています。どうやら幸運を呼び込む鳥のようです。この鳥が、小説の中でどんな風にかかわってくるのでしょうか？ここでとんでもないことを告白します。僕はこの本を読んで、ものすごく楽しんだのですが、今はその内容をほとんど覚えていないのです。話やトリックは一切覚えていないのですが、面白かったことだけは断言できます。上巻の最後の一文までたどり着くと、下巻を読まずにはいられなくなる、と多くの書評で様々な人が指摘しています。確かに僕もそうだったことは覚えています。是非読んでみてください。

(かりや しん/メディア・コミュニケーション)



# ビブリオバトル(知的書評合戦)を 開催しました

図書館まつり（5月7日～5月31日）の一環として、5月30日に「ビブリオバトル」を開催しました。国際総合学科の学生を中心に学生6名がそれぞれ本の魅力を発表し、「記憶に残った言葉は?」「この本を読むきっかけは?」等のディスカッションを行いました。チャンプ本には鷲尾みずきさん(国際総合学科2年)が紹介した『木洩れ日に泳ぐ魚』(恩田陸 著)が選ばれました。鷲尾さんは、実体験を交えた分かりやすい説明で推奨理由を挙げ、票を集めました。

## ビブリオバトルの発表者及び発表した本

勝目 理可 (専攻科 造形専攻美術コース 2年)  
『言葉にできる』は武器になる』 梅田 悟司 著

馬渡 佳奈 (国際総合学科 2年)  
『食堂かたつむり』 小川 糸 著

江川 実悠 (国際総合学科 2年)  
『阪急電車』 有川 浩 著

鷲尾 みずき (国際総合学科 2年)  
『木洩れ日に泳ぐ魚』 恩田 陸 著

藤井 愛美 (国際総合学科 2年)  
『ちょっと今から仕事やめてくる』 北川 恵海 著

藤岡 汐音 (国際総合学科 2年)  
『新釈 走れメロス 他四篇』 森見 登美彦 著



『木洩れ日に泳ぐ魚』  
恩田 陸 著  
913.6/O63

次の日には別々の道を歩むことが決まっている同棲中の男女2人は、最後の夜に夜通し語り合います。互いに「目の前にいる彼/彼女は“あの男”を殺した犯人なのではないか」との疑惑を抱きながら。2人の視点で交互に語られ、徐々に明らかとなる2人の本当の関係とは?そして、“あの男”とは一体誰なのか?疑い合う2人の心理戦の果てにある驚愕の真実が待っています。「ミステリーは人間関係が複雑で難しそう」と思っている人は多いのではないのでしょうか。しかし、この小説の登場人物は主に2人だけ。沢山の人が出てきて混乱することは絶対にありません。とにかく読みやすい!そして何より恩田陸さんの「真実」の隠し方、出し方が絶妙です。そのため、1度読み始めると続きが気になって頭から離れなくなってしまいます。ちょっぴり怖い、しかし人を愛するということはどういうことか、幸せとは何なのかを問う恩田陸さんの小説、ぜひ読んでみてください。

国際総合学科 2年 鷲尾 みずき

# 学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」（毎年2回実施）を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計96冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。



## 図書館選書ツアー感想文

美術科 1年 大庭 輝良々

図書館選書ツアーに応募したのは、「タダで欲しかった好きな本が読めるかも(°∇°)！」という下心からです。

私は最初から図書館に入れたい本が決まっていたので、どんどんカゴにぶちこんでいったんですが、今年度の上限は2万円で、それでもまだ選ぶ余裕のある予算だと思いました。思えばこうやって本屋さんをじっくり見て回るということを、随分していなかったなあと、大抵買う本が決まっています、「この本いいな」と思っても今日はお金がないからまた今度。だからこそ今回選書ツアーに参加して、私が好きなものや好きなことを改めて実感しました。

志望動機を紙に書くだけで応募できるので、募集期間中図書館に行けば簡単に申し込めます。本屋さんに行く日の

予定さえ空けておけば、もう行くだけです！選書ツアー当日は、本屋さんが開店する時間に集合して、簡単に説明があった後、本選びがスタートします。私たちはみんなそれぞれカゴを持って選んでいきました。本屋さんで!!!カゴを持って!!!お財布を気にすることなく気に入った本をカゴに入れていいんです。しかも2万円分ですよ!!!(°∇°)(°∇°)

1人暮らしの大学生にありがたすぎる企画だと思います。そういえば最近本読んでないなって思った方は、ぜひ図書館に行ってみてください。私たちが選んだ本読んでみてください！何冊読んでもタダです！(^▽^)/是非♪

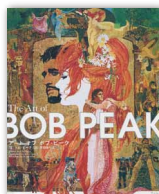
## 参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 大庭 輝良々

### 『アート オブ ボブ・ピーク』

トム・ピーク 著  
726.5/P31

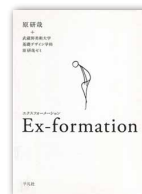
ボブ・ピークとは、「地獄の黙示録」「マイ・フェア・レディ」「007シリーズ」など、数多くの映画ボスターを手掛け【映画ボスターの父】と言われた人だそうです。絵画作品としての魅力と、商業的な要素どちらもが成り立つ素敵な作品が沢山載っています！是非手に取ってパラパラと見てください♪(^▽^)/



### 『Ex-formation』

原 研哉 著 757/H31

武蔵野美術大学の教授であり、無印良品のアートディレクションをはじめ革新的なデザイン活動を続ける原研哉さん。自身のゼミ生と10年間かけて行ったデザインの「思考」と「教育」の理論と実験の総集編です。日常がちょっとおもしろくみえる、そんな気づきが沢山詰まった本です！ちなみに私が好きな実験は「ソフトクリームを持つと人は皆幸せに見える。」です♪(^▽^)/



美術科 1年 垣花 愛美

### 『短歌ください』

穂村 弘 著 911.16/H83

この本はある雑誌に投稿された短歌を集めたものです。一つ紹介します“みそ汁が寂しい人はいませんかここにえのきが落ちていますよ”この光景を想像してみると、えのきを拾った人の不思議な優しさが思い浮かびます。ただ意味のわからない文章だと思うかもしれませんが、コツを掴むと面白くなります。



### 『かき氷 for Professional』

旭屋出版編集部 編  
596.65/A82

本にはかき氷のレシピや美味しいかき氷のお店が載っています。おいしそうかつ珍しいかき氷がたくさん載っていて見るだけで楽しい本です。自分的には甘酒のかき氷とティラミス風のかき氷が特に美味しそうでした。家で友達とつくったり、芸短祭やイベントでつくったり重宝しそうな本です。



## 音楽科 1年 木寺 潤一

### 『学校と社会・子どもとカリキュラム』 ジョン・デューイ 著 371/D67

学校教育が実生活と関係する必要性を説いたプラグマティズムな教育論。アメリカの哲学者・デューイの「教育学者」としての姿が生かされている。20世紀の教育方法が今日も勉強されるのはひとえに、そこには我々学習者にとって新しいと思える発想が存在するからであろう。尚、本書は芸術系学科の開講科目「教職概論」「教育原理」の関連図書である。



### 『わたしだけの おいしいカレーを作るために』

水野 仁輔 著  
596.3/M196

カレー研究者である水野氏初の料理エッセー。これまでに数多くのカレーを食し、作り続けてきた氏の深い知識が此処に凝縮されている。本学には自炊をしている学生は多くいるだろうが、その中でもカレーが特に大好きでスパイスからの美味しいカレー作りを志す者には、是非とも最初の1冊として本書を推薦したい。



## 音楽科 1年 石井 葵

### 『航路 (上・下)』 コニー・ウィリス 著 933.7/W74

この本のテーマは「臨死体験」。一見硬いテーマですが、ユーモラスな会話と人物達によって、とても楽しく読めます。そして、作者は世界で最も優れたストーリーテラーの1人、コニー・ウィリスです。そんな彼女の最高傑作とも言われるこの作品は、読み終えた人の心に深い感動を届けてくれます。



### 『イルミナエ・ファイル』

エイミー・カウフマン&  
ジェイ・クリストフ 著  
913.6/Ka86

衰退しつつある紙の本。しかし、そのポテンシャルはすごいものなのだとこのことを見せつけられました。この本はとある惑星の惨劇に関する情報をまとめたファイルという変わった形態です。チャットやログから私たち読者は物語を読みといていきます。「読む」という行為が娯楽でした。こんな本、滅多にありません！



## 国際総合学科 1年 佐藤 甲一

### 『キクタン英会話： 聞いてマネしてすらすら話せる』 一杉 武史 編著 837.8/H77

この本を選んだ理由は、海外で使う可能性の高いフレーズが多数収録されているからです。出国から帰国までこれ1冊で充分カバー出来ます。海外に行く学生の皆さんに自信を持ってお勤め出来る一冊です。私は、今年の夏に海外に行く予定なので、キクタンを使ってしっかり勉強したいです。



### 『自宅でできる 自重筋カトレーニング』

荒川 裕志 著  
780.7/A63

大学に入学してから、授業やアルバイトなどの理由から運動する機会が以前より減ったという人は多いと思います。私が選んだ本は、自重だけで効率よく運動する方法が多数掲載されているので、自宅で簡単に始めることが出来ます。慢性的な運動不足を解消、予防したい人や、運動機能を維持向上させたい人にお勧めです。



## 国際総合学科 1年 秋吉 紅花

### 『使える哲学』 平原 卓 監修 柚木原 なり マンガ 130/H63

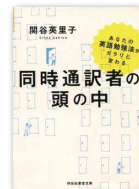
哲学が好きだけど難しそうと思ってる方や哲学に少し興味を持ち始めた方など誰にでもオススメできる1冊です。この本は文章だけの哲学本ではなく、漫画やイラストがたくさんありとても読みやすくなっています。そのため哲学に興味ない方でも漫画を読むような感覚で哲学に興味をもつことが出来ると思います。



### 『同時通訳者の頭の中』

関谷 英里子 著  
830.7/Se43

現役で通訳士をされている方が英語について語ってる本です。英語の勉強法や自身の体験談などもありとても勉強になる本です。英語力を磨きたいと思ってる方などにオススメしたい1冊です。また、英語だけでなく、ほかの言語にも当てはまる勉強法が沢山あると思うので是非読んでみてください。



## 情報コミュニケーション学科 1年 佐藤 香雪

### 『「子供を殺してください」 という親たち』 押川 剛 著 916/O76

この本は、様々な要因で教育や育児に失敗した人達が著者の許を訪れ、その対策を考えていくノンフィクションです。家族について考えられる、育児放棄等の虐待など普段目を背けたいような現実を真剣に考えられる本です。これから家族を作っていく人達に読んで欲しい本になっています。



### 『そして、君のいない九月がくる』

天沢 夏月 著  
913.6/A43

この本は、ある夏の日恵太が死に、そのショックから立ち直れないいつも一緒に過ごしてきた4人の友人たちが夏休みを過ごす中で、死んだはずの恵太そっくりなケイに会い、恵太が過ごしてきた今までを旅する4人の物語です。旅をしながら様々な思いを馳せる青春ミステリーになっています。



## 情報コミュニケーション学科 1年 北江 明日香

### 『タイム屋文庫』 朝倉 かすみ 著 913.6/A85

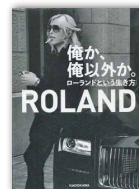
この本を読んで一番最初に思ったことが、文章が綺麗だと思いました。猫の動作1つにしても本当に細かく書かれててすぐに想像することができるので作者さんはすごいです。そして、読んでいて穏やかな気持ちになれる本でした。



### 『俺か、俺以外か： ローランドという生き方』

ROLAND 著  
916/R64

ローランドの物事の捉え方って本当にカッコよくて、この本を一冊読み終わる頃には絶対に読む前よりも広く物事を捉えられてるようになってると思います。わたしにはそのくらい影響力のある本だと思いました。



# こんな本が新しく入りました

2019年4月～8月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します

学科	図書ラベル	書名	著者	学科	図書ラベル	書名	著者
美術科	336.1/H29	デザインマネジメント原論：デザイン経営のための実践ハンドブック	デイビッド・ハンズ著	音楽科	761.5/N81	ハーモニー探究の歴史：思想としての和声理論	西田紘子、安川智子編著
	545.61/H14	ストーリーのある50の名作照明案内	萩原健太郎著		761.8/Ta74	3つのケーススタディでよくわかるオーケストレーション技法	佐美秀俊著
	674.3/Ma99	デザイン・メイキング152：デザイナーのラフスケッチ実例集	MdN書籍編集部編		762.27/I27	アラブ音楽入門：アザーンから即興演奏まで	飯野りさ著
	707.7/N67	パウハウスの人々：回想と告白	エックカート・ノイマン編		763.9/R51	コンピュータ音楽：歴史・テクノロジー・アート	CurtisRoads著
	727/G95/37	活版・凸版印刷でモノ感あふれる紙ものづくり			810.9/Ts34	日本語防衛論	津田幸男著
	757.04/Ko24	デザインに哲学は必要か	古賀徹編		C/7865	Complete chorus pieces ＝全合唱曲集 [録音資料]	武満徹；山田和樹指揮
	757.04/Sa85	ネンドノオンド	佐藤オオキ著		B8.42/Tak'H/YM 1/43-43/43	アラジン・メドレー ＝"Aladdin" Medley	高橋宏樹編曲
国際総合学科	130/W37	若い読者のための哲学史	ナイジェル・ウォーバートン著	情報コミュニケーション学科	007.13/Mi76	図解眠れなくなるほど面白い AI (人工知能) とテクノロジーの話	三宅陽一郎監修
	336/Ma68	ビジネスの限界はアートで超える！	増村岳史著		141.6/I59	感情とはそもそも何なのか：現代科学で読み解く感情のしくみと障害	乾敏郎著
	386.8/Ts52	Eイサー物語：移動する人、伝播する芸能	塚田健一著		361/Ta84	社会学用語鑑識：人物と用語でたどる社会学の全体像	田中正人編著
	460/O24	生命デザイン学入門	小川葉子、太田邦史編著		507.2/Su58/2019	知的財産権六法	角田政芳編
	755.3/B38	ダイヤモンドの語られざる歴史：輝きときらめきの魅惑	ラシェル・ヘルグスタイン著		673.97/O24	マクドナルド失敗の本質：賞味期限切れのビジネスモデル	小川孔輔著
	807/Sa85	コミュニケーションとは何か：ポスト・コミュニケーション・アプローチ	佐藤慎司編		930.2/D48	図説アーサー王伝説物語	デイヴィッド・テイ著
	778(J)/Ni	日日是好日 [映像資料]	大森立嗣監督・脚本		778(W)/Bo	ボヘミアン・ラプソディ ＝Bohemian rhapsody [映像資料]	ブライアン・シンガー監督
図書館	007.35/G17	The four：GAFA(ガーファ)：四騎士が創り変えた世界	スコット・ギャロウェイ著	図書館	673.98/N37	人が集まる「つなぎ場」のつくり方：都市型茶室「6次元」の発想とは	ナカムラクニオ著
	141.7/Ko12	ヒトの脳にはクセがある：動物行動学的人間論	小林朋道著		760.4/I89	しなやかに心をつよくなる音楽家の27の方法	伊東乾著
	367.21/N37	東京貧困女子。：彼女たちはなぜ踴ったのか	中村淳彦著		809.2/H57	口下手のままでも伝わるプロの話し方：博報堂スピーチライターが教える	ひきたよしあき著
	491.3/Ka21	トリセツ・カラダ：カラダ地図を描こう	海堂尊著 ヨシタケシンスケ絵		915.6/Ku92	赤崎水曜日郵便局：見知らぬ誰かとの片道書簡	楠本智郎編著

## 図書館職員注目の一冊

### 『バッタを倒しにアフリカへ』

前野 ウルド 浩太郎 著  
486.4/Ma27

バッタの研究に没頭する著者の熱意がひしひしと伝わってきます。毎日何気なく当たり前に行っていることが、実はとても恵まれた環境にいることに感謝の念も湧いてきます。アフリカ(モーリタニア)の文化や生活様式も詳しく書かれていて紀行文やエッセイ的な要素もあり、読み物として純粋に楽しめる一冊です。(さんのみや)



### 『悪女入門：ファミ・ファタル恋愛論』

鹿島 茂 著  
950.26/Ka76

「ファミ・ファタル」とはフランス語で「運命の女」、具体的には男を破滅させるような魔性の魅力を持った女のことです。「マノン・レスコー」等のフランス文学の傑作をファミ・ファタルという観点からタイプや誘惑術を分析、恋愛の本質やフランス社会を読み解いた本書はオペラ鑑賞の参考におすすめです。(いわもと)



### 『「繊細さん」の本：「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる』

武田 友紀 著 141.94/Ta59

著者は「敏感すぎる人・HSP」の気質を持つ人のことを「繊細さん」と呼びます。人と会うと楽しけれど疲れる。周囲の人の気持ちを敏感に察知してしまう。そんなあなたは繊細さんかもしれません。この本は繊細さんが安心して過ごすための方法を教えてください。できそうだし！と思うことから始めてみませんか？あなた自身のために(\*^^\*) (うしじま)



### 『コドモノセカイ』

岸本 佐知子 編訳  
933.78/Ki58

10人の作家の、11編を集めたアンソロジーです。とても短い話もあり読みやすいのですが、すっかり忘れていたようなことが語られていて、ひとつ読み終わるごとに休憩したくなりました。子どもの頃見たり聞こえたりしていたことは消滅したんじゃないの、大人になった今も存在していて、思い出したくなるとこんな本を手取るのだな、と感じました。(くどう)





芸短フェスタ 2019 学長プロジェクト

# ライブラリー 網中いづる「Lively」

柔らかな色彩で描かれるファンタジックなイラストレーション展

2019年10月26日(土)～11月29日(金)

9:00～19:00 (土日・祝日休館)※10月26日(土)27日(日)のみ13:00-17:00 開館

大分県立芸術文化短期大学附属図書館 入場無料

主催 大分県立芸術文化短期大学 お問い合わせ Lively 展企画担当 amp02@oita-pjc.ac.jp

本や楽譜などの資料の  
購入リクエストはMyOPACの  
購入希望 から受付しています!

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない  
資料は購入を見合わせています。  
まずはリクエストを送ってみてください!



ほん太

大分県立芸術文化短期大学附属図書館  
図書館だより No.33

発行日 2019年10月18日発行  
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館  
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号  
TEL・FAX (097) 545-4235  
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>  
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子